

令和7年度 墨田区立第二寺島小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 富永央星

学校教育目標	・よく考えて工夫する子 ・思いやりがあり助け合う子 ・体力のある元気な子 ・ねばり強くやりぬく子
目指す学校像	自己実現を目指す学校
目指す児童像	自分とひとを大切にできる子
目指す教師像	使命感のある教師

○令和7年度 学校経営計画における重点内容
 ・学校教育目標の重点を「思いやりがあり、助け合う子」に置くこととし、道徳科の時間だけでなく本校の学校教育全体を通して、よりよく生きる力の基盤である「思いやりの心」を育てることを重要課題と設定する。
 ・今年度、新たな101年目のスタートとなる。「百年の思いやり」というテーマを継承しつつも、これからの時代を生きていくための「学力の定着」についても課題として、授業改善を推し進める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
各教科指導等	基礎学力の確かな定着のために主体的・対話的で深い学びを実現させる授業を行う。	・ねらいに対してのまともと振り返りを毎時間行うことで、「分かる・できる」授業を実施する。 ・アウトプットを大切にさせる。 ・年間3回以上の授業観察を実施する。	4	学校評価における校内研究の肯定的評価回答100%	3	4	年度末の授業観察後の評価にてA評価が90%以上	3	・どの授業においてもねらいとまとも、振り返りを意識して授業を実施している。 ・年間3回以上の授業観察を実施した。 ・アウトプットについては、もう一問が課題。	授業改善を行う上で、分かる授業を意識するあまり、導入に時間がかかりすぎてしまい、授業終盤に時間がなくなってしまうケースがある。時間配分をしっかりと行っていく。	B	B	引き続き子供たちの学力定着のために工夫を重ねていってほしい。
			3	学校評価における校内研究の肯定的評価回答80%以上		3	年度末の授業観察後の評価にてA評価が80%以上						
			2	学校評価における校内研究の肯定的評価回答60%以上		2	年度末の授業観察後の評価にてA評価が60%以上						
			1	学校評価における校内研究の肯定的評価回答50%未満		1	年度末の授業観察後の評価にてA評価が50%未満						
	特別支援教育を推進する。 ・特別支援委員会を中心に個々の児童に合わせた支援のための個別指導計画を作成し合理的な配慮のもと体制を整える。	・毎月1回以上の特別支援委員会開催と毎週実施の生活指導夕回を通して、全教職員への情報共有を行う。	4	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答100%	3	4	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率100%	4	特別支援委員会において支援の必要性とその内容について協議し、生活指導夕会においては児童についての情報共有と対応の仕方について共通理解をもつことができた。	特別支援が必要な児童は増加傾向にある。児童の目線で支援の在り方について協議する必要がある、支援の仕方にも工夫が求められる。	B	A	支援が必要な児童に合わせた教育は必要だと思う。その対応をしている先生方に感謝する。
			3	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答80%以上		3	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率80%以上						
			2	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答60%以上		2	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率60%以上						
			1	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答50%未満		1	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率50%未満						
	最後までやり通すことのできる児童を育成する。 ・特別活動や学校行事等を通して最後まで取り組むことの良さを味わわせる。	・年間を通した特別活動（縦割り班活動、委員会、係活動、当番活動、登校班）や学校行事を計画的かつ効率的に実施する。	4	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答100%	3	4	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が100%	3	本年度は運動会を復活させることで、行事に対する期待感や達成感をあじわわせ、最後までやり通すことの大切さを伝えられた。	学校行事だけでなく、縦割り班、委員会、係活動、登校班などの活動を通して達成感を味わわせることが大切であると考えられる。そのような活動を工夫して設定していく。	A	A	行事だけではなく、他学年とのコミュニケーションなど、とても良いと思う。
			3	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答80%以上		3	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が80%以上						
			2	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答60%以上		2	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が60%以上						
			1	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価50%未満		1	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が50%未満						
生活指導等	いじめを許さない校風の醸成をめざす。 ・いじめ防止方針案に則り、いじめの早期発見早期解決に取り組む。	・いじめ防止対策委員会を中心に教職員全体で取り組み、情報共有のもと即時対応する。	4	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率100%以上	3	4	学校生活アンケート課題解決率100%	3	年間3回生活アンケートを行うと共に、いじめ防止対策委員会を適時開催することで、いじめの早期発見と迅速な対応に注力することができた。	学級・学校への満足感がより高まるよう取り組むと共に、いじめの未然防止、早期発見の手立てをさらに充実させ、工夫していく。	B	B	いじめは難しい課題だと思いますが、よりよい対応を望みます。0にすることは難しいが早期の対応をお願いします。
			3	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率80%以上		3	学校生活アンケート課題解決率90%						
			2	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率60%以上		2	学校生活アンケート課題解決率80%						
			1	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率50%未満		1	学校生活アンケート課題解決率70%未満						
	自分とひとを大切にする児童を育てる。 ・規範意識や社会性を身に付けた思いやりのある児童を育成する。	・身に付けるべき生活のルールを全職員で確認し、年間を通して段階的に指導していく。	4	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答100%	3	4	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が100%	3	週目標による生活のきまりを意識させると共に毎週の朝会で周知してきた。また思いやりのある行動を取り上げて称賛するなど、心を育む取り組みを行ってきた。	学校教育全般を通して、また道徳教育において規範意識の醸成に努めていく。	B	B	二寺小の子供たちの自己肯定感は育っていると思う。他人との有和の気持ちは社会に出て必要。
			3	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答80%以上		3	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が80%以上						
			2	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答60%以上		2	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が60%以上						
			1	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答50%未満		1	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が50%未満						
	安心・安全な教育環境のある学校づくりをめざし、自分で自分の身を守ることでできる児童を育成する。	・避難訓練やセーフティ教室、保健指導を通して、自分で自分の身を守る意識を高め、実践力を身に付けさせる。	4	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答100%	3	4	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答100%	3	避難訓練やセーフティ教室、保健指導を適切に実施することで、自分で自分の身を守るという姿勢を育てている。	避難訓練については、様々な状況を想定して実施する必要がある。セーフティ教室においては、学年実態に応じたゲストを招聘するなどの工夫が必要である。	B	A	自分ごとと捉えて訓練を行ってほしい。
			3	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答80%以上		3	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答80%						
			2	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答60%以上		2	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答60%						
			1	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答50%未満		1	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答50%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
学校の管理運営	「チーム二寺小」として、組織的な学校運営を推進する。	・経営会議、企画会を質的に充実させ、計画的で組織的な提案を行い、実施後は即時見直しを次年度のために行う。	4	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答100%	3	4	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答100%	毎週、主幹を含めた経営会議を行い、毎月主任幹会を開くことで、職員から提案や意見を取り入れてきた。また行事後はすぐに反省を行った。	各種、分掌の進捗状況を確実に把握していく。また反省を生かした改善案を作成させることで、よりよい学校運営につなげていく。	B	A	行事、活動の振り返りは大事です。ただ先生方もあまり根詰めないようにしていただきたい。
			3	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答80%以上		3	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答60%以上		2	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答50%未満		1	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答50%未満					
学校の管理運営	教員としての使命を自覚し副規程を遵守する教員の資質向上を図るとともに、教員としての使命を自覚し服務規程を遵守する。	・教職員に服務事故を起こさないために服務事故防止研修を毎月実施する。、	4	教職員ア「服務研修への取組状況」100%	4	4	保護者ア「学校満足度」肯定的意見90%以上	毎月の服務事故防止研修、その他服務に関する情報を教員に提示し、地域、保護者から信頼していただけるよう取り組んだ。	引き続き取り組んでいく服務事故ゼロをめざしていく。	A	A	服務事故0を目指す姿勢や努力は素晴らしい。児童が被害者となる事故が起きないように今後も願います。
			3	教職員ア「服務研修への取組状況」90%以上		3	保護者ア「学校満足度」肯定的意見80%以上					
			2	教職員ア「服務研修への取組状況」70%以上		2	保護者ア「学校満足度」肯定的意見60%以上					
			1	教職員ア「服務研修への取組状況」70%以上以下		1	保護者ア「学校満足度」肯定的意見60%未満					
学校の管理運営	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	・児童が安全で落ち着いて学校生活を過ごすことができる環境を整える。	4	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見90%以上	4	4	保ア「安全対策」肯定的意見85%以上	毎月の安全点検を行い、校内施設の環境安全に努めた。施設に不備が生じたときは教育委員会と連携し修繕を行った。	安全第一を最重要事項に挙げ、引き続き取り組む。	A	A	引き続き定期的な安全確認をお願いします。
			3	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見85%以上		3	保ア「安全対策」肯定的意見80%以上					
			2	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見80%以上		2	保ア「安全対策」肯定的意見70%以上					
			1	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見80%未満		1	保ア「安全対策」肯定的意見70%未満					
家庭・地域連携	学校の情報を積極的に発信する。	・毎月の学校便りや学年便り等での情報発信に加えて、HPを充実させる。	4	HPの更新が平均して月に3回以上	3	4	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答100%	各種たより、コクー・HPを活用し情報発信を行った。HPにおいて、各学年の活動を掲載できるように努力した。	引き続きHPやお便り、メールを中心に最新の情報を届けられるように努力する。	B	B	HPは先生の負担とならないよう協力できるとよい。
			3	HPの更新が平均して月に2回以上		3	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	HPの更新が平均して月に2回未満		2	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	HPの更新が平均して月に1回未満		1	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答50%未満					
家庭・地域連携	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を推進する。	・地域教材や地域人材を活かした学習活動を推進する。	4	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年3回以上	3	4	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答100%	各学年において、読書の読み聞かせ、寺島なす、ピオトープ作り、稲作体験、がん教育などゲストティーチャーを招聘し授業を行ってきた。	次年度においても本物に触れる授業、地域人材を活用した授業を年間計画に位置づけ計画的に取り組んでいく。	B	A	二寺小は、伝統的な取り組みを長年続けていて良いと思います。
			3	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年2回以上		3	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年2回未満		2	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	地域教材・人材を活かした学習活動が学年で未実施		1	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答50%未満					

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

今年度は、学校の教育目標の重点を「思いやりがあり助け合う子」として一年間経営してきた。その中で、運動会の6年ぶりの開催について保護者・地域の方からは、肯定的なご意見を多くいただくと共に、児童においても行事への期待感や達成感により自己肯定感の高まりが見られた。年度末の保護者・地域の方からの学校評価アンケートでは、各項目の肯定的評価が9割近くあり、一定の評価をいただいたと感じている。また学校運営連絡協議会では、学校の取組と教職員の働き方を気遣う労いの言葉を頂戴し、その温かいご支援に深く感謝しているところである。今後とも保護者、地域と連携した学校経営に取り組んでいきたい。